



諏訪バイパスの整備効果～其ノ3～

■バイパスの整備効果4:交通安全の確保 (VOL.12のつづき)

全国で高齢ドライバーによる交通事故や、園児、小・中学生等が巻き込まれる交通死亡事故が増えています。今回は諏訪バイパスの整備による交通安全の確保について考えてみます。

《全国的な交通事故の傾向と現国道の状況》

最近、散歩中の園児や登下校中の児童・生徒、横断中の高齢者等を巻き込んだ痛ましい交通事故が、毎日のように報道されており、いわゆる「交通弱者」への安全の確保と、抜本的な高齢者の運転技能対策が急務となっています。

さて、当地域における現国道20号の歩道のうち、幅が75cm以上ある歩道の整備率は7割に留まっています。加えて、狭隘な歩道には電柱等が林立し、これを避ける歩行者や自転車は、車両と接触する危険性が高く、この中には、通学路に指定されている区間もあるため、歩道空間が確保されていないことが大きな課題となっています。



大社通り交差点付近の交通状況



藤ノ木交差点付近の通学路の状況



県道岡谷茅野線大熊付近への大型車両流入

《交通事故減少への効果》

現国道20号の安全確保の重要な対策として、通過交通車両や大型物流車両等の分散が挙げられます。これらの車両が諏訪バイパスを利用することにより、現国道20号の交通量が減少し、歩道の整備と併せると交通安全に大きな効果が期待できます。

また、諏訪湖の西側を通る「県道岡谷茅野線」では、平成14年から現在まで、7件もの交通死亡事故が発生しており、生活道路として利用されている近隣住民の皆さんは、非常に心配されています。

諏訪バイパスの整備により、地域に流入する通過交通車両、大型物流車両等が減少し、交通死亡事故の減少に大きな効果が期待できます。

発行主体

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会（諏訪市国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会・下諏訪町国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会）・下諏訪町国道20号下諏訪岡谷バイパス建設促進期成同盟会・諏訪市・下諏訪町

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会の 総会を開催しました

3月25日(月)に、諏訪市役所において平成31年度国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会総会を開催しました。

総会では、平成30年度事業報告、平成31年度事業計画が審議され、今年度も国土交通省や財務省に対して行う中央要望、長野国道事務所、長野県建設部に対して行う長野要望を実施することが承認され、早期事業化のための、「国道20号諏訪バイパス建設促進に関する決議」を確認しました。

現在、「ルート・構造の原案」の発表が待たれていますが、当期成同盟会は、バイパスの早期建設に向けた地域との調整を図っていきます。



渡辺芳紀会長 挨拶

国(国土交通省・財務省・関東地方整備局・ 地元選出国會議員)への要望活動を行いました



国土交通省池田道路局長への要望

5月31日(金)に、国土交通省、国土交通省関東地方整備局、財務省、後藤衆議院議員への要望活動を行いました。

国土交通省では池田道路局長と面会し、諏訪バイパスの早期事業化と、下諏訪岡谷バイパスの早期完成に向けた事業促進を要望しました。

池田道路局長からは「諏訪地域の国道20号に対する課題解決の必要性を同様に感じている。ルート(原案)発表は間もなくというところまで来たが、環境影響評価の調査を念入りに行っているため、もう暫く(発表まで)時間をいただきたい。」というコメントがあり、丁寧な対応をしていただいていることに事業の着実な進捗を実感しました。

また、財務省へは道路予算の確実な確保を要望しました。

問合せ先

国道20号諏訪バイパス建設促進期成同盟会事務局

諏訪市建設部国道バイパス推進室

TEL : 0266-52-4141 (内線271) / FAX : 0266-52-8164 / E-mail : bypass@city.suwa.lg.jp

下諏訪町建設水道課国道バイパス推進室兼関連調整係

TEL : 0266-27-1111 (内線246) / FAX : 0266-28-8783 / E-mail : kanren@town.shimosuwa.lg.jp